

天皇賜杯第87回日本学生陸上競技対校選手権

開催日：2018年9月6日（木）～9日（日）会場：神奈川・等々力陸上競技場

金本実華（経済学部2年）

全日本インカレで女子やり投げに出場させていただきました。記録は37m51と自己ベストから程遠い結果でした。全カレで入賞するには、全国の舞台で自己ベストを出せる体力に加え、精神的な面も必要と感じました。今は、長引いていた怪我の完治を目指し治療に専念することにしました。そして、怪我をしない強い体をつくり、来年のインカレで三連覇、全カレでは決勝に残りたいと思います。また今回、部から補助金をいただき、金銭面で支援していただき感謝しています。ありがとうございました。

六郎面有佑（経済学部2年）

今回の全日本インカレに男子100mで出場させて頂きました。結果は10秒81(-2.2)と振るいませんでしたが、取り組んできた課題においては普段通り意識し、積極的なレースができました。力不足という結果に終わり、まだまだ勝負できる状況、状態でないことを突きつけられるきっかけとなりました。台風の影響やサブグランドの変形した走路、大変難しいコンディション環境でしたが、どんな状況でも力を発揮できるような選手、勝ち進んでいける選手、そんな選手が準決勝、決勝に立つことが出来ると改めて実感させられました。そして競技会が終わると、有名な強豪大学の学生たちがゴミを拾っている姿を目の当たりにしました。これらは彼らの「常識」のようです。私たちもこれらの小さなところからレベルアップしていきたいと思いました。



藤本佑月（経済学部4年）

全日本インカレは、C標準で女子砲丸投に出場させていただきました。記録は12m16と自己ベストにも及びませんでした。しかし、自分自身3回目となる全日本インカレは、とても楽しむことができました。私は4回生なので、次はありませんが、この雰囲気の中で競技を行い、改めて陸上競技が好きだなと感じました。記録に繋げることのできない自分の弱さもありますが、多く

の方からの応援が励みになったこと、また、大学や部からも補助金を頂いたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。



中野 育(福祉情報医学部4年)

全日本インカレでは、女子ハンマー投に出場しました。結果は51m09cmで15位でした。入賞を狙っていましたが結果は予選落ちでした。今回、本当にたくさんの方に応援していただき、すごく嬉しかったです。笑顔で報告できる結果を出すことはできませんでしたが、とても陸上競技をやっていて良かったと思いました。応援ありがとうございました。

宅島翔太(経済学部2年)

私は全日本インカレにマネージャーとして、参加させていただきました。初めての全カレだったのでどんな試合が観られるかとても楽しみだった反面、自分はマネージャーとして、選手のサポートが出来るのか不安もありました。しかし、選手の皆さんは、こんな私を頼ってくれ、楽しく、かつ、真剣にサポートに取り組むことが出来ました。また、試合としては、全国の学生のトップレベルの戦いや、応援を間近に見たり、感じる事ができ、自分もこんな選手になりたい、こんな応援をしたいと強く思いました。自分のレベルは、まだまだ、全カレに行くことは難しいですが、まずは、目標である西日本インカレの標準を切りたいと思いました。

最後にこんな、私を全カレに連れて行ってくれた選手や、先生方、また、補助金を出して下さった陸上競技部の皆さんにこの場をかりて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

